

「ビスコ」ブランド通信

「ビスコ」は、子どもたちのすこやかな成長を応援します



【ビスコの思い】

おいしくてつよくなる！「ビスコ」は、お子さまのことを考えた素材とおいしさによって、**お子さまのすこやかな成長に寄り添ってまいりました。発売から89年経つロングセラー**ながら、お子さまの健康を願って今後も止まることのない進化を続けてまいります。

「ビスコ」商品特長

「ビスコ」とは・・・

カルシウムやビタミン B1・B2・D、“おなかで目覚め、生きたまま腸まで届く”スポロ乳酸菌、そして食物繊維が入った、おいしくて体にうれしい乳酸菌クリームサンドです。あっさりとした甘さで、小さなお子さまから大人まで幅広い層に支持されているロングセラー商品になります。

なめらかな口どけのクリーム

“おなかで目覚め、生きたまま腸まで届く”スポロ乳酸菌が入ったこだわりのクリームです。

ビスケットとクリームの絶妙な組み合わせ

サクッと香ばしく、口どけなめらかなおいしさを楽しんでいただける乳酸菌クリームサンドです。



サクサクのビスケット

焼き上がりをミリ単位で管理しているビスコのビスケット。

クリーム量に合わせて、サクッと香ばしくビスケットを焼き上げています。

ロングセラー商品「ビスコ」の歴史

1933年 「グリコ」に次ぐ第二の栄養菓子として発売

1931年、江崎グリコは創業以来10年を経ており、創業時代の勇気と創造の熱意を失わないために、栄養菓子「グリコ」に次ぐ第2の栄養菓子として開発が始まりました。当時、胃腸の働きを助けるなどの栄養効果が注目されていた「酵母」を、同じく日本に入ってきたばかりであったビスケットに入れることを思いつき、熱に弱い「酵母」が死なないようにクリームサンドビスケットとし、試作、研究を重ねながら、夏場でも問題ないクリームを作り上げ、1933年2月、ついに「ビスコ」を完成させました。江崎グリコにとって、当時高級菓子であったビスケットの販売は容易ではありませんでしたが、新聞広告・百貨店でのマネキン宣伝販売・学校バザーなどでの試供品配布や販売、医師会への見本配布など、きめ細やかな対策を打ち出し、順調に売上を伸ばしていきました。



▲1933年2月に発売
初代「ビスコ」

1951年 終戦後に再発売

終戦後の1950年、規制解除を見据えて「ビスコ」の製造再開に動き始めました。戦前のメモからテスト生産にこぎつけ、1951年、「ビスコ」の生産が再開。当時は統制による原料不足や配合・機械調整の難しさ等から、生産は困難を極めました。そして1952年以降、失敗が続いていた東京地区への進出でしたが、1966年秋、北海道で発売し、東北・静岡・甲信越と、東京を包囲しながら進出。ついに1967年の秋、「サクセスビスコ東京セール」を展開することで、東日本進出に成功しました。



▲1951年 終戦後に
再発売された「ビスコ」

1970年 より健康に即したリニューアルへ

1970年、「ビスコ」はパパイソ（パパイソの実から抽出したたんぱく分解酵素）を配合したことで、ふっくらと焼き上がり、軽い口どけと消化吸収が一段と良くリニューアルしました。そして、1980年には、子どもの虫歯問題が大きく取り上げられており、母親は甘いお菓子を懸念するようになっていたため、ビタミン・カルシウム・乳酸菌を強化。同時に、サクサクとしたビスケット生地に変更し、レモン味のクリームの味わいも調整。カルシウム強化を訴求するCMも投入しました。こうして「ビスコ」は、母親が子どもに食べさせる栄養菓子として確立されていきました。



▲1982年
4代目のビスコ坊や登場

2005年 23年ぶりの大幅リニューアル

2005年、クリームを20%増量し、ビスケットを乳化剤・酵素が入った油脂に一部変更することで、更に口どけを良くすることに成功。乳酸菌の配合も4千万個から1億個へ大幅に増やし、栄養を強化しました。ビスコ坊やも5代目となり、デザインも現代的に生まれ変わりました。



▲2005年
おいさと健康を大幅強化。
ビスコ坊やも5代目に。

2020年 15年ぶりの大改革！

2020年には、子どものすこやかな成長のことを考えて「素材」と「おいしさ」の“W イノベーション”を行いました。まず「素材」のイノベーションは、「ビスコ」のクリーム部分に配合している“おなかで目覚め、生きたまま腸まで届く”という特徴を持つスポロ乳酸菌に、エサとなる食物繊維を加えた「シンバイオティクス」を実現したことです。そして、“ビスコ史上最大のクリーム量”に改良をし、これまで以上に口どけの良さを楽しんでもらえるようになりました。



▲2020年
「素材」と「おいしさ」の
“W イノベーション”

ロングセラー商品「ビスコ」の歴史

■時代とともに変化する「ビスコ坊や」

「ビスコ」の歴史を語る上で外せない要素である「ビスコ坊や」。子どもが菓子を口にしてほおを膨らませているドイツの菓子のポスターに着想を得て、それを日本風にデザインしたのが始まりです。「ビスコ坊や」は、絵としての巧みさより、表情の巧みさを狙ったところに特徴があり、ほおの膨らみを最大限に強調して「おいしさ」を表現し、えくぼと目元で「親しみ」を感じてもらえるようにしました。お子さまのすこやかな成長を願う「ビスコ」のシンボルとなる「ビスコ坊や」は、発売当時のお子さまにあわせてデザインしており、それぞれの時代や社会を映す鏡にもなっています。

<歴代の坊やたち>



①1933年～
(昭和8年)



②1951年～
(昭和26年)



③1956年～
(昭和31年)



④1982年～
(昭和57年)



⑤2005年～
(平成17年)

「ビスコ」製造のヒミツ

①ビスケットの生地を作る

小麦粉や砂糖、食塩などの原料を混ぜ合わせて生地を練ります。できあがった生地は少し寝かせてなじませます。

②生地をローラーで伸ばす

ビスケットの生地をローラーで伸ばし、薄い生地を何層にも重ねていきます。

③ビスコの形に型を抜く

シート状になった生地から、ビスコの形に型を抜きます。表面の模様をいれるものと、型抜き用の二つがあります。

④オーブンで焼き上げる

生地の状態を確認しながら、オーブンで一気に焼き上げます。

⑤クリームをサンドする

別の部屋でつくっていたクリームをビスケットに乗せて機械で正確にサンドしていきます。

⑥包装して箱詰め

でき上がったビスコを小分けに包装して箱に詰めていきます。



■こだわりポイント

①生地をそのまま焼くのではなく、ローラーでシート状に伸ばした生地を何層も重ね、高温で一気に焼き上げることで、サクサクとしたソフトな食感を生み出しています。

②ビスケットはまさに生き物。同じ作り方でも原料やその日の気温などの微妙な違いで、焼き上がりが大きく変わります。だからビスコは人の目と手で、生地の状態をしっかりとチェックしています。機械で真似ができないほどのレベルで調整を重ね、いつも同じおいしさを実現しているのです。



「ビスコ」の豆知識🍪コーナー

「ビスコ」名前のヒミツ



「酵母ビスケット」を縮めた略称「コービス」から、コービスコービスコービスコ・・・「ビスコ」！と命名されました。「グリコ」と語呂が合い、ともに八画で末広がり。字体はグリコが角ばっているのに対して丸みを持たせることにしました。

「ビスコ坊や」のヒミツ



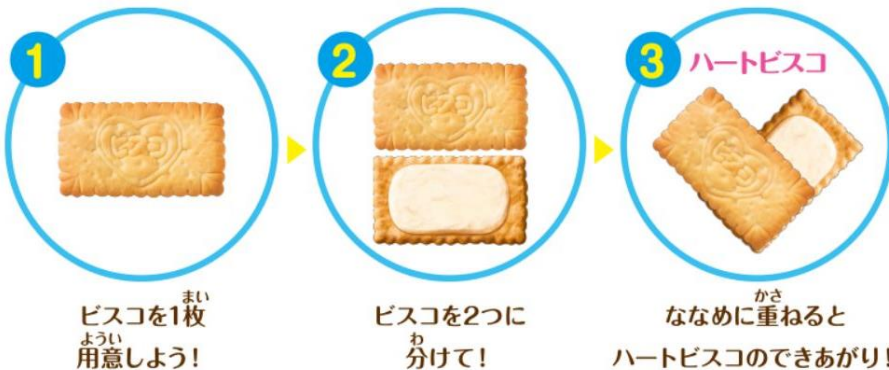
これまでのビスケットは大箱・バラ製品が大半でしたが、「ビスコ」は行楽のおやつにも便利なものにするために、ポケットに入るパッケージ入りとしました。さらに、ドイツのポスターで菓子を口にして頬を膨らませている子どもをヒントに、日本風に描きかえて、「ビスコ」のパッケージに加えることとしたのです。ほおのふくらみを最大限強調しておいしさを、えくぼと目元で親しみを感じてもらえるようにしました。

発売当初のエピソード

1934年9月室戸台風が関西を襲った際、関係官庁と打ち合わせ、その指示のもと被災地を訪れ見舞いの意味で損得抜きで格安で販売を実施しました。1日数台のトラックが「ビスコ」の旗を立てて各地を訪れたため、被災者を応援することができ、「ビスコ」が広く知れ渡っていきました。現在「ビスコ」は、長期保存ができる防災備蓄商品を販売しています。

おすすめの食べ方

ハートビスコ^{かた}のつくり方



「ビスコ」のおすすめの食べ方として「ハートビスコ」があります。ビスコを2つに分けて、ななめに重ねるだけで、ハート型に。感謝の気持ちを簡単に伝えられる、おすすめの食べ方です。

※さわる前に、しっかりと手を洗ってください

※完成イメージです

(実際のサイズとは異なります)

まだまだある！「ビスコ」の魅力

スマイルビスコ



スマイルビスコとは、好きな写真を「ビスコ」のロゴにのせて、**オリジナルビスコ**を楽しめるサービスです。結婚式のプチギフトや、出産記念、思いを伝えるタイミングなどにも最適で、さまざまなシーンに合わせて**感謝を伝えることのできる、ほっこり温かい「ビスコ」**です。

1ボックス20個入り2,980円（税込）（送料別）

●ほんのりレモン風味のクリームを、あっさりプレーンなビスケットでサンドしました。

●どこか懐かしい、素朴な味わいです。

※ビスコには、おなかで目覚める乳酸菌が入っています。

さらにカルシウム、ビタミンB1・B2・Dもたっぷりです。

サイトURL：<https://s-bisco.jp/>

防災備蓄のビスコ

■ビスコ保存缶 30枚入り（5枚×6パック）



小さなお子さまからご年配の方まで幅広い方にお召し上がりいただけるように発売した、缶詰タイプの長期保存可能な「ビスコ」です。

- ① **食べなれたいつもの味**
- ② **調理不要で、すぐに食べられる**
- ③ **5年間の長期保存が可能**

災害時には、子どもから大人までみんなが普段食べている優しい味の「ビスコ」がぴったり！と災害対策担当の方からは嬉しいお声をいただいています。

さらに、賞味期限お知らせサービス付きで買い替えのタイミングも安心です。

■保存用ビスコ<コンパクトタイプ> 3パック（5枚入り/1パック）

スペース効率に優れており、大量備蓄に優れた真空パックの「ビスコ」です。

- ① **食べなれたいつもの味**
- ② **調理不要で、すぐに食べられる**
- ③ **5年間の長期保存が可能**

法人・官公庁用の備蓄品です。食べなれた味で災害時も安心できるほか、**備蓄食には少ない甘味系の食品のため、主食としてもおやつとしても活躍します。**真空パックになっているのでコンパクトで配布しやすく、上着のポケットにも入るサイズです。

クリームサンドビスケットで**水がなくても比較的食べやすく、1袋でごはん1.7杯分の300kcal**が摂取可能です。

- 「ビスコ」ブランドサイト：<https://cp.glico.com/bisco/>
- 「ビスコ」公式Twitter：https://twitter.com/bisco_cp
- 「ビスコ」公式Instagram：https://www.instagram.com/bisco_cp/